

子ども教育通信

ぼくが
紹介します!

教育・保育の現場で生きてくる!
授業の魅力紹介!

本学科の自慢のひとつは、将来、教育・保育の現場で生きてくる学び。様々な方向から、実際に働き出してから必要になるスキルを身につけていきます。その先に見えるのは、自信を持って現場に立つあなたの姿です。



活かせるチカラが身につく授業

音楽I

子ども教育学科1年 紙谷 真史 (野々市明倫高校出身)

楽譜を読めるだけでなく、
曲を「理解」できるように。

この授業では、音楽理論の基礎知識を身につけ、教育・保育現場で使用するレベルの楽譜を、無理なく読めるようにします。実技は「基礎ピアノⅠ・Ⅱ」の授業で学べるため、『音楽Ⅰ』では音楽の仕組みの学習に重点を置いています。保育士も、幼稚園教諭も、小学校教諭も、ピアノは弾けなければいけません。もともと楽譜が読めなかった人にはとても助かる授業となりますよ。僕もそうだったんですが、音楽理論という難しく聞こえますよね。でも、簡単に言えば、「音楽の仕組み」です。「メロディと和音の関係」など、曲を成り立たせている様々な要素について学びます。曲の仕組みを「理解」することで、曲の明るさやトーンなどの世界観を伝えられるようになるんです。



「音楽Ⅰ」を担当する中野研也准教授。充実した環境で、音楽理論について丁寧に学生たちに指導を行っている。（「音楽の仕組みを理解することで、子どもへの伝え方がきっと変わりますよ。皆さんが納得できるまで教えます」と。）

「ここがスゴイ」
to 後輩の皆さん

この授業で
ピアノが好きになりました!



子ども教育学科1年 砂田 恵利 (三国高校出身)

楽譜の読み方や曲の仕組みをわかりやすく学べるので、入学当時はピアノが弾けなかった私も、今では弾くことが好きです。早く幼稚園の先生になって、子どもたちと一緒に音楽を楽しみたいです。

わたしが
紹介します!

子ども教育学科1年
野村 綾
(南砺福野高校出身)

教育・保育の現場で生きてくる! キャンパスの魅力紹介!

実践力を育む充実した設備

現場で生きてくる学びを支えるのは、充実した環境です。
本学科では、学びをサポートする多様な設備や空間がそろっています。
実際に体験しながら、直接ふれながら、学生は納得するまで学んでいけます。

わたしたちの
学びの中心となる
G号館です!



ピアノ練習室

個人用のピアノ練習室です。空き時間や土・日、夏休みなどの期間に学生が使用できます。全て個室で防音になっているので、他人への迷惑を心配せずに練習することができます。自宅にピアノがない学生にとってはとっても助かります!もちろん、冷暖房完備。

集中して
練習できる!



子ども教育学科3年
東野 雅樹
(丸岡高校出身)

小児保健・家庭科実習室

「子どもの保健Ⅱ」や「家庭」、「家庭科教育法」の授業で主に使用しています。実物と同じサイズ・重さの乳児人形があり、おむつ交換や沐浴などを、実践的に学ぶことができます。



思うがままに、
ものづくり!



子ども教育学科1年
酒井 亜耶加
(仁愛女子高校出身)

図工室

「図画工作Ⅰ・Ⅱ」、「保育内容研究(表現B)」、「図画工作科教育法」の授業で主に使用しています。色紙、画用紙など工に必要な材料や、電動糸のこぎり、はさみなどの道具がそろっているので、とっても便利なんです。作業用の広い机があるので、大きな作品の制作もばっちりです。



音楽室

保育や教育の現場に必要な音楽教育について学ぶ空間です。グランドピアノのほか多数の楽器がそろっていて、「音楽Ⅰ・Ⅱ」、「音楽演習」、「音楽の世界」など歌や演奏の授業で使われています。



理化学実験室

「理科」「理科教育法」の授業で使用するスペース。実験器具や実験装置が多数設置されているので、様々な実験に対応できます。実践の中で、器具や設備の意味や操作方法もしっかり身につけられます。



総合演習室

大きな窓から広い景色が見渡せる、開放感たっぷりのスペースです。主に「保育基礎演習」など身体表現の授業で使われています。全面が鏡張りされた壁があり、自分の姿を見ながら身体を動かすことができます。ダンス部の練習場所としても使われています。

